

◆編集・発行

茨城町 町長公室 秘書広聴課
〒311-3192
茨城県東茨城郡茨城町小堤1080
☎ 029-292-1111
メールアドレス
ibarakit@town.ibaraki.lg.jp

◆人口

住民基本台帳
令和4年6月末現在
男 15,735人
女 15,644人
総人口 31,379人
世帯数 13,455世帯

◆茨城町民憲章

- 1 ふるさとの自然を守り、美しい環境の町をつくりましょう。
- 1 からだをきたえ、教養を高めて、すこやかな町をつくりましょう。
- 1 隣人や家庭の愛を大切に、まごころのかよい合う町をつくりましょう。
- 1 自分の仕事に責任と誇りを持ち、活気に満ちた町をつくりましょう。
- 1 文化遺産を愛護し、先人の努力に感謝できる町をつくりましょう。

- ◆町の花 桜
- ◆町の木 梅
- ◆町の鳥 うぐいす

◆町の防災行政無線が聞き取れなかった場合
防災行政無線テレホンサービス
☎0800-800-8848
(通話料無料)

町ホームページにも放送内容を掲載しています。

◆町の情報発信中!!

- 町公式ホームページ
<https://www.town.ibaraki.lg.jp/>
- 町公式ツイッター
<https://twitter.com/IbarakiTownMati/>
- 町公式インスタグラム
https://www.instagram.com/townibaraki_official/



里山に育む生きものたち

No.120 ナミアゲハ（アゲハ）
（アゲハチョウ科）

学名 *Papilio Xuthus* Linnaeus

写真・文 小菅 次男

▼世界に広く分布
終戦後の小学生時代に
昆虫に夢中になり、県庁
前のカラタチの生垣でナ
ミアゲハの幼虫や蛹を探
した頃が懐かしく思い出
されます。
ナミアゲハは世界に広
く分布するチョウの一つ
で、ミャンマーから中国
大陸、ロシア極東部及び
グアム島にまで及びます。
日本でも北海道から南西
諸島、小笠原諸島と全域
に分布しています。

▼庭のミカン科が好物
ミカン科のサンショウ、
カラタチ、ミカンなどの
栽培種が食樹のため、山
地には少なく、人家の庭
や社寺の境内、公園など
の人里に多く見られる
チョウです。
ツツジ、ウツギ、ヤブ
カラシなど多くの花に吸
蜜に来るほか、湿地など
で吸水する姿もよく見ら
れます。

▼敵から身を守る仕組み
幼虫は1〜4齢までは
黒色に白い模様が入り、
鳥の糞に似ていますが、
5齢からは緑色になり、
今度は葉と見分けがつか
なくなりやすくなります。
このように幼虫は体色
を周囲に合わせてたり、他
のものに擬態したりして
外敵から身を守っていま
す。わけでもなく、5齢
幼虫は胸部にある目玉模
様で鳥を驚かせ、さらに
最後の手段としては刺激
すると頭部から橙色で嫌
な臭いのする臭角を出し、
外敵を追い払います。
蛹も外敵を警戒して、
色彩を周囲の環境に合わ
せて緑、褐色、橙色と変
化させて越冬します。

▼漢字では揚羽蝶
漢字で書く「揚羽蝶」
です。
アゲハチョウ科のチョ
ウは英語で「スワロー・
テイル（燕の尾）」といい、
尾状突起の形に由来する
名前です。一方、日本語
の「揚羽蝶」は、このチョ
ウが翅を揚げ、震わせな
がら吸血する姿を表現し
た名前です。
形態的な特徴を重視し
た英国人の命名に対して、
一瞬の動きに注目して揚
羽蝶と名付けた日本人。
両者の自然を見る感性の
違いがよくわかる例です。
このチョウの花から花
へと吸血する優美な姿は
「家紋」の「揚羽蝶」とし
て古くから使われて来ま
した。特に平家一門がこ
れを家紋としていたこと
はよく知られています。
ちなみに私の母方の家
紋は揚羽蝶です。皆さん
の家紋は何でしょうか？

ちびっ子アート ふじ保育園



「だいすきなぞく」
きど まゆ (5歳)



「だいすきなぞく」
こばやし ひな (5歳)

